

Hyodai Learning

October 2019
vol.08
HYOGO University



短期大学部 保育科第一部 / 保育科第三部

▶「キッズガーデン」 就学前の親子への遊び場を提供!

保育科の学生からボランティアを募り、就学前の親子への遊び場の提供を目的に、年4回程度行っています。学生が企画と準備をし、教員とともに親子の皆さんを迎えます。学生が行いたいことを自ら実現すること、実際に参加者を迎え共に過ごすこと、提供した遊びの内容や配慮を振り返り、保育実践力の学習の一環ともなっています。



2年 東田 萌花さん

自分たちが考えたあそびを子どもたちが楽しみながら実践しているのを見て、嬉しくなったのを感じています。楽しいばかりではなく、楽しみながらも学べるあそびを伝えられるようにしたいです。次の実習に臨むときには、新しいあそびを実践しようと考えています。



共通教育機構

▶本物の文化財で拓本をとろう!

室町時代前期の本物の文化財で拓本をとりました。新在家地蔵堂の五輪塔に彫られた梵字の採拓に挑戦です。学生は、霧を吹き、専用和紙を貼り、布で空気を押し出し、墨を叩きました。考古学研究会の部員が準備や事後の汚損チェックをしてくれます。古銭や赤瓦での実技練習や、街道・中世石塔・供養などの事前学習も行い、学生にとっては初めての経験となり、貴重な時間となりました。



1年 看護学科 池本 奈菜さん

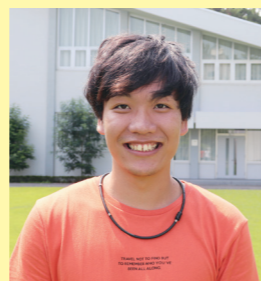
この授業では、実際に博物館に行って、普段は見られない裏側を見ることができ、とても貴重な経験になりました。文化財に対する知識がそれほど豊富ではなく、滅多に見ることもありませんが、実際、目の前にすると、とても魅力的に感じられ、今まで以上に興味を持つことができました。

新しい大学祭を

兵庫大学の大学祭「聚萌祭」は今年で55回目を迎えることとなりました。今年のテーマは「飛翔 平成から令和へ羽ばたけ兵大生」をテーマとし、新時代に突入した今年、新しい時代の波に負けないよう、ここを原点として羽ばたいていこうという思いから、このテーマに決められました。聚萌祭はどんな人でも参加して楽しんでもらいたいという思いを持ちながら企画・運営を大学祭実行委員会が行っています。大学祭実行委員会は一回生が多く、いろんな観点からアイデアが出てくるのでどんな年齢の方でも楽しんでもらえる大学祭になっていると思います。昨年は約9000人の来場者の方に来ていただき盛大に盛り上がった聚萌祭ですが、今年は昨年より、そして56回目につながる大学祭を開催したいと考えておりますので、ぜひ兵庫大学の大学祭「聚萌祭」にお越しください。

日時 11月9日(土) 10:00~18:30
11月10日(日) 10:00~16:30

内容 ・模擬店・展示・フリーマーケット
・クラブパフォーマンス等



4年 健康システム学科
井村 敦貴さん

ありがとうの プロフェッショナルへ。

「ありがとう」に
あふれる人生を送ってほしい、
それが私たちの願いです。

あらゆることに感謝の念を抱きながら、
仕事をさせていただくこと。
他者にこころを寄せ、
おたがいに認め合い大切にしようこと。
そして、他者とおたがいに譲りあい、助けあうこと。

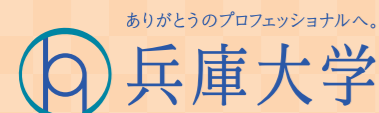
すると、やがてあなた自身が
「ありがとう」という感謝の言葉を
いただくことができる専門家となります。
それこそが、私たちが目標とする
“ありがとうのプロフェッショナル”なのです。
私たちはあなたの一生を支える力を育みます。
生きる力に変わる学びを、あなたに。

— 協働のまちづくり市民会議 × 熟議 2019 —

加古川市在住の一般市民24名を含む61名が参加し、「あなたが参加したいまちづくり活動って何?~まちづくり活動と一緒に考えよう~」をテーマに、加古川市のまちづくり活動について議論しました。

Theme 地域での学び

左記のタイトル「ありがとうのプロフェッショナルへ。」は、私たち兵庫大学の教育に込めた思いを表現したものです。建学の精神の「和」を大切に、感謝、寛容、互譲の心と高度な技術を併せもった人材の育成を学内外の多くの方々にお約束する内容を表現しています。



http://www.hyogo-dai.ac.jp

兵庫大学



公式サイト



受験生応援サイト



Twitter



バックナンバー

Hyodai Learning



現代ビジネス学部 現代ビジネス学科

▶貴重な経験! 学生が株主総会に傍聴参加!

ハリマ化成グループ株式会社様の株主総会に傍聴参加しました。1年生の授業「プロジェクト演習入門」で進めている「カンパニー・プロジェクト」の一環で、本物の株主総会を体験するとともに、同社の長谷川社長から企業経営についてのお話を伺い、株主様との懇親会にも参加し、実際のビジネス社会を学ぶ貴重な機会となりました。



1年 濱元 玲央さん

本物の株主総会に携わるのはもちろん初めてのことで、普通には体験することができない裏側も見せていただくことができました。株主に対して、きめ細かく事業の計画等を説明している様子を見て、自分たちが主体となって進んでいく「カンパニー・プロジェクト」でも、実践してみようと感じました。



看護学部 看護学科

▶4年生が最後の 「看護の統合と実践実習」を実施!!

加古川中央市民病院で2週間の「看護の統合と実践実習」が行われました。チーム医療で他職種との連携を学び、受け持ち患者様の退院支援の実践では、実際に自宅へ訪問し、住居の構造や設備を下見するといったことも体験しました。地域での退院後の患者様の生活を支援するためには、チーム医療での他職種との連携が重要であることを学ぶことができ、学生にとっては貴重な機会となりました。



4年 長岡 絵梨奈さん

退院後の患者様の生活を見据えた看護するには、地域連携や退院後の支援を担当する看護師、理学療法士等、様々な視点から支援するための役割があることを知りました。実際に退院後の入浴動作についてパンフレットを作成し、実践したことで、地域で暮らす患者様に継続した看護ができることを学びました。



健康科学部 栄養マネジメント学科 (管理栄養士養成施設)

▶「公衆栄養臨地実習」で 地域住民の健康づくりを支援!

7月に開催された加古川市主催健康づくり支援事業「ウェルネス健康チャレンジ」の開幕式に実習生として参加しました。会場では配布された食品の栄養に関する説明を担当し、熱心な参加者の問い合わせに懸命に対応する一コマも。地域住民の主体的な健康づくりを支援する栄養行政の実際に触れるよい機会になりました。



4年 高坂 未来さん

開幕式では、配布された食品の説明を担当し、他にも参加者の方々と一緒に運動をさせていただきました。今回の経験を経て、行政栄養士の業務について深く知ることができました。また、地域住民の方々と触れ合える良い機会となりました。



生涯福祉学部 社会福祉学科

▶地域実習で、また一步成長!

4年生の夏期に精神保健福祉士になるための地域実習を行います。実習では病気のために生きづらさを感じている利用者とは直接触れ合います。そこで利用者の人生に触れることで、学生自身の生き方や価値観を考える機会となります。今回の実習を通して、実習先、学内でのスーパービジョン(実習指導)によって、学生は「専門家」として、また一步成長しました!



4年 五十嵐 光さん

地域実習では、様々な生活様式で暮らす人々の当たり前の生活を支えるために、地域の専門職の方々がやっている支援内容を深く学ぶことができました。実際に支援業務に携わって見たことで、コミュニケーションを取ることの大変さや、専門業務の難しさを痛感しました。



健康科学部 健康システム学科

▶教師としてのスタート地点! 「中学校・高等学校教育実習」

教育実習は、教職を目指す学生が学校教育の実際をあらかじめ体験研究できる機会です。これまで大学で学んだ教育に関する知識・技術を、教育現場で実際に披露し、直接肌で感じ、身をもって検証します。学生にとっては実践の場であり、教師としてのスタート地点となるものです。学生は、今回の実習で良いスタートを切ることができました!



4年 植田 愛里さん

教育実習では、日常の様々な場面で子どもたちの道徳心を育てていることを学び、コミュニケーションの大切さ、信頼関係を築く大変さを痛感しました。「ただ伝えるのではなく、その言葉の裏にある意味を伝える」という教師になりたいという思いがより一層高まり固い夢になりました。



生涯福祉学部 こども福祉学科

▶実践的な力を身につける! 「教育実習指導」

4年生の6月に4週間、幼稚園での教育実習に行きます。事前指導として、幼稚園や認定こども園で行われる幼稚園教育の目的や方法など、幼児教育の基本、教育実習の意義や目的などを学びます。実習日誌や指導案の書き方、保育展開の方法など、実践的な力も身につけます。実習後には、ワールドカフェ方式で互いの経験や学びを語り合うことを通して、各自の今後の課題を明らかにし、更に学びを深めることができました。



4年 谷坂 唯さん

印象に残っていることは、実習当初、人見知りや挨拶を返してくれなかった子どもが、4週間の実習が終わる頃には自ら進んで挨拶してくれるようになったことです。子どもたちと関わる中で、どのようにすれば心を開いてくれ、うまくコミュニケーションが取れるのかを常に考えていました。